

## 事業報告書

【将来性を有する競技者の発掘及び育成活動助成】

助成事業細目	タレント発掘・一貫指導育成事業		
助成事業者名	公益財団法人日本卓球協会		
事業名	JOCエリートアカデミー選手及び有望選手 国際競争力育成事業		
事業実施期間	平成 29 年 4 月 6 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日 (延べ 256 日間)		
事業の成果	JOCエリートアカデミー選手及び全国の有望選手(18歳以下)に海外合宿と海外遠征を経験させることにより国際競争力が高まり、将来のオリンピックや世界選手権代表へのステップとなる。この事業に参加した選手及びコーチが将来のオリンピックや世界選手権においてメダルを獲得し国民にスポーツを通して勇気や感動を与えてくれるものと思っている。日本卓球協会としては、この事業を継続することが若手育成に一番効果的だと分析している。臨時コーチ・練習相手を招へいし、質の高い練習ができることで、若手育成の中心的事業となっている。		
事業に対する評価	JOCエリートアカデミー及び有望選手を海外に派遣することにより、各人が国際人として成長でき、語学力や生活力を身に付けることにより人間力の成長に結びついてくると考えている。また、卓球を行う国や地域が226あることから多くの国や人種と様々なお付き合いが生まれ、スポーツを通して国際貢献にも寄与していると考えられる。競技面においては、上記「事業の成果」でも紹介しているように日本の若手が世界トップクラスに成長している。この事業を継続する事により、中国を倒してオリンピックで金メダルを獲得の基盤作りになると確信している。		
事業計画及び実績		年度当初計画	実績
	述べ参加人数	180 人	180 人
	活動日数	190 日	256 日
	述べ指導者数	48 人	48 人
	累計各年代代表選手輩出数	15 人	20 人
事業の実施方法	第三者への委任(事務委任等)の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無    ※第三者への委任(事務委任等)が「有」の場合、以下に記入するとともに、委任先の取支決算書を提出すること	
	委任先の組織名称		
	委任の内容		
実施した事業の内容			
1. シニアのワールドツアー大会及びジュニアのジュニアサーキット大会への派遣をする中で、2日ほど前には現地に入り、時差調整も含めて地元選手との合同練習を開催した。 2. JOCエリートアカデミー及び有望選手に対して大学生の練習相手及び臨時コーチを招へいした。			
情報公開	助成金の実施状況に及びる実施結果の並び開	情報の公開方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> HPで公開 <input type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で公開 <input checked="" type="checkbox"/> 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備 <input checked="" type="checkbox"/> 情報開示請求があった場合に開示 <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 特段の情報の公開は行っていない 理由: ( )
		公表した内容(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施状況(助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施結果(助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開) <input checked="" type="checkbox"/> 助成金の使途に関する情報(助成金額(交付決定額)及び何に使用したのかを公開) <input type="checkbox"/> 助成金の交付を受けた旨は公開できない 理由: ( )
事業実施後に参加者等に対する満足度調査を行ったか		<input type="checkbox"/> 行った <input checked="" type="checkbox"/> 行わなかった	実施方法

# 事業報告書

【将来性を有する競技者の発掘及び育成活動助成】

助成事業細目	タレント発掘・一貫指導育成事業		
助成事業者名	公益財団法人 日本卓球協会		
事業名	全国ブロック別研修合宿		
事業実施期間	平成 29 年 10 月 6 日 ~ 平成 29 年 12 月 17 日 (延べ 12 日間)		
事業の成果	この研修合宿の特色は選手と指導者がセットで参加するところにある。選手と指導者の意識改革を促すことが、将来的にナショナルクラスに成長する選手の絶対数を増やす事に繋がっていくと考えている。近年卓球会では偏ることなく、全国から優秀なタレントが出現してきている。その選手の指導者は過去にこの研修合宿にさんかしているケースが増えてきている。本事業の大きな成果と考える。		
事業に対する評価	概ね計画通り実施することができた。単に技術講習を目的とした合宿ではなく、心技体を併せ持った選手の発掘・育成をポイントに掲げている。参加者からも大きな経験となったと言う声が多数寄せられている。また、技術練習においては、ナショナルステージをスタンダードにした講習を行い、選手並びに指導者に対して大きな刺激を与えられた。		
事業計画及び実績		年度当初計画	実績
	述べ参加人数	265 人	244 人
	活動日数	12 日	12 日
	述べ指導者数	13 人	6 人
	累計各年代代表選手輩出数	未定 人	0 人
事業の実施方法	第三者への委任（事務委任等）の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	※第三者への委任（事務委任等）が「有」の場合、以下に記入するとともに、委任先の収支決算書を提出すること
	委任先の組織名称	株式会社 JTB コーポレートセールス	
	委任の内容	宿泊、旅費の調整及び交通費の払い戻し等	
実施した事業の内容	<p>〔事業の詳細〕                      Aブロック研修合宿「鹿児島県 松元平野岡体育館」12月2日～4日 参加者75名                      Bブロック研修合宿「富山県 砺波青少年自然の家」10月21日～23日 参加者60名                      Cブロック研修合宿「福島県 郡山ユラックス熱海」10月14日～16日 参加者47名                      Dブロック研修合宿「東京味の素ナショナルトレーニングセンター」12月16日～18日 参加者62名</p> <p>主な研修内容                      技術指導基本練習・最新のプレーテクニック                      ジュニア期のフィジカルトレーニング                      コンディショニング指導・・・メンタル他                      栄養指導・・・日常の食事、大会期間中の食事、水分摂取等                      世界の戦術・技術（映像による指導）                      指導者の役割と指導方法                      フィジカルテストの実施</p>		
情報公開	情報の公開方法 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> HPで公開 <input checked="" type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で公開 <input type="checkbox"/> 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備 <input type="checkbox"/> 情報開示請求があった場合に開示 <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 特段の情報の公開は行っていない 理由：( )	
	公表した内容 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 事業の実施状況(助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開) <input type="checkbox"/> 事業の実施結果(助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開) <input type="checkbox"/> 助成金の使途に関する情報(助成金額(交付決定額)及び何に使用したのかを公開) <input type="checkbox"/> 助成金の交付を受けた旨は公開できない 理由：( )	
事業実施後に参加者等に対する満足度調査を行ったか	<input type="checkbox"/> 行った <input type="checkbox"/> 行わなかった	実施方法	
備考			

# 事業報告書

【将来性を有する競技者の発掘及び育成活動助成】

助成事業細目	タレント発掘・一貫指導育成事業		
助成事業者名	公益財団法人 日本卓球協会		
事業名	男子・女子ホープス・カブ選手+指導者研修合宿		
事業実施期間	平成 30 年 2 月 23 日 ~ 平成 30 年 3 月 11 日 (延べ 6 日間)		
事業の成果	この研修合宿の特色は選手と指導者がセットで参加するところにある。選手と指導者の意識改革を促すことが、将来的にナショナルクラスに成長する選手の絶対数を増やすことに繋がっていくと考えている。この研修合宿は、10才~12才までの選手を参加させ、早期教育の側面を併せ持っている。技術的には世界に通じる初期設定。その他メンタル・栄養等に関する意識付け。また今回はスポーツ整形のドクターに協力を得て、選手のエコー検査を実施、スポーツ障害の検診を取り入れた。また、JOCプログラムを男女講習に取り入れた。		
事業に対する評価	概ね計画通りに実施することができた。今回も昨年に引き続きドクターの検診（エコー診察、検診、問診）をプログラムに始めて取り入れた。結果は大きな障害や怪我の報告はなかった。参加指導者からも「ホッしました。」との声寄せられた。特に近年、幼少期からプレーを始める傾向が高く、比例してスポーツ障害の発生が増えていることが医科学委員会からも寄せられている。講義では、指導者に対する障害への認識を中心に有意義な内容で行われた。その他、トレーニング講習（実践）やJOCプログラムについて好評であった。		
事業計画及び実績		年度当初計画	実績
	述べ参加人数	164 人	145 人
	活動日数	6 日	6 日
	述べ指導者数	20 人	4 人
	累計各年代代表選手輩出数	20 人	7 人
事業の実施方法	第三者への委任（事務委任等）の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※第三者への委任（事務委任等）が「有」の場合、以下に記入するとともに、委任先の収支決算書を提出すること	
	委任先の組織名称	株式会社 JTB コーポレートセールス	
	委任の内容	宿泊、旅費の調整及び交通費の払い戻し等	
実施した事業の内容	<p>〔事業の詳細〕                      実施場所日時；女子：天童市スポーツセンター総合体育館 男子：新発田カルチャーセンター                      平成30年2/23~2/25（女子）                      選手26名、指導者47名                      平成30年3/9~3/11（男子）                      選手23名、指導者49名                      「総計」145名</p> <p>研修内容；                      ①技術指導、基本技術の徹底ブレースタイルを指導                      ②フィジカルトレーニング…発育に合わせた指導                      ③コンディショニング指導…栄養指導・メンタル指導                      ④コーチングの指導…指導者に対してアドバイス                      ⑤体カテスト                      ⑥スポーツ整形診断…エコー検査、問診、検診                      ⑦JOCプログラム…指導者向け子育て論</p>		
情報公開	情報の公開方法（複数選択可）	<input checked="" type="checkbox"/> HPで公開 <input checked="" type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で公開 <input checked="" type="checkbox"/> 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備 <input type="checkbox"/> 情報開示請求があった場合に開示 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 特段の情報の公開は行っていない 理由：（ ）	
	公表した内容（複数選択可）	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施状況（助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開） <input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施結果（助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開） <input checked="" type="checkbox"/> 助成金の使途に関する情報（助成金額（交付決定額）及び何に使用したのかを公開） <input type="checkbox"/> 助成金の交付を受けた旨は公開できない 理由：（ ）	
事業実施後に参加者等に対する満足度調査を行ったか	<input checked="" type="checkbox"/> 行った <input type="checkbox"/> 行わなかった	実施方法	アンケート
備考			